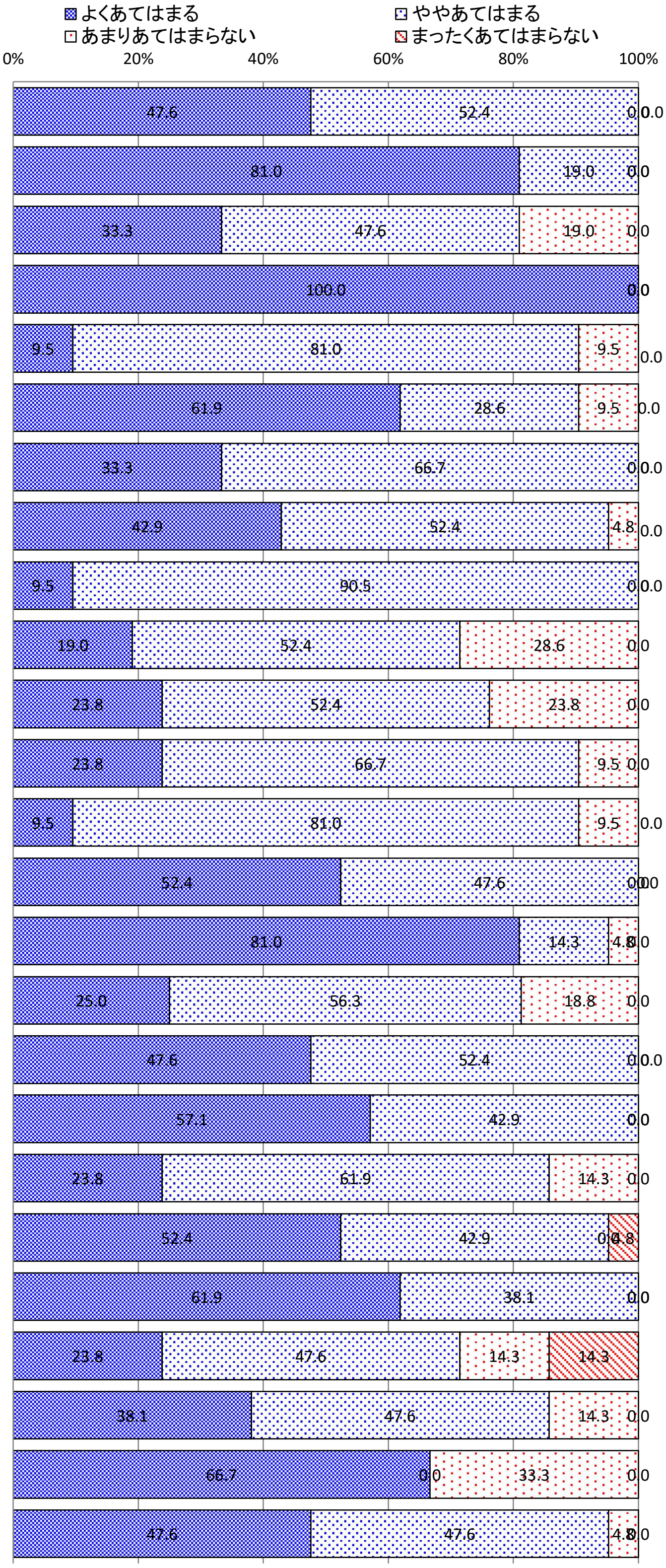
令和3年度　教職員による学校評価（12月）

笠間市立みなみ学園義務教育学校

	No	内　　容
学校運営	1	本年度の組織目標を意識して、教育活動を実践している。
	2	教師間で連携協力して教育活動を進めている。
	3	業務の効率化や時間の使い方の柔軟化により、めりはりのある働き方を実践している。
	4	飲酒・体罰・個人情報漏えいの防止等、学校コンプライアンス推進に努めている。
	5	義務教育学校として、全学年が活動する行事を工夫している。
	6	教科担任制により、関心意欲を高め、学力向上に努めている。
児童生徒の育成　よく考え、進んで学ぶ	7	個に応じた指導に配慮し、分かりやすい授業を実践している。
	8	ICTの活用等を通し、児童生徒の主体的・対話的な学びに努めている。
	9	毎時間の授業で、個々の児童生徒の理解度を確認し適切な評価をしている。
	10	家庭学習の手引きや学びのプログラムを活用し、家庭学習の課題を与えている。
児童生徒の育成　豊かな心と夢を持ち続ける	11	キャリア教育資料を活用し、児童生徒のよさを伸ばし生かす指導をしている。
	12	「あいさつのレベル」を活用して元気なあいさつができるよう指導している。
	13	異学年交流の活動を工夫している。
	14	児童・生徒同士がよさを認め合い、自己肯定感の高揚に努めている。
	15	いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている。
	16	「考え議論する道徳」の指導に努めている。
児童生徒の育成　心身たくましく、郷土を愛する	17	児童生徒の相談や悩みに適切に対応し、生徒理解に努めている。
	18	日頃から、健康や安全を児童生徒自ら確保できるようになるための指導を意図的にしている。
	19	食育の重要性を意識し、適切な指導を行なっている。
	20	体育的学校行事や体育の授業、部活動を通して、体力の向上を図っている。
	21	言葉遣いや礼儀、集団でのルール・マナーなどについて指導している。
	22	「笠間志学」を通して郷土を愛する児童生徒を育てている。
学校づくり　地域とともにある	23	学校の取り組みや児童生徒の様子を保護者や地域に積極的に伝えている。
	24	保護者や地域の力を学校教育に活かしたり、学校から地域に学習の場を提供したりしている。
	25	必要に応じ保護者や地域と連絡を取り合ったり、相談したりして、学校づくりを進めている。